

橋梁位置図 S=1:10000
(雄高橋)

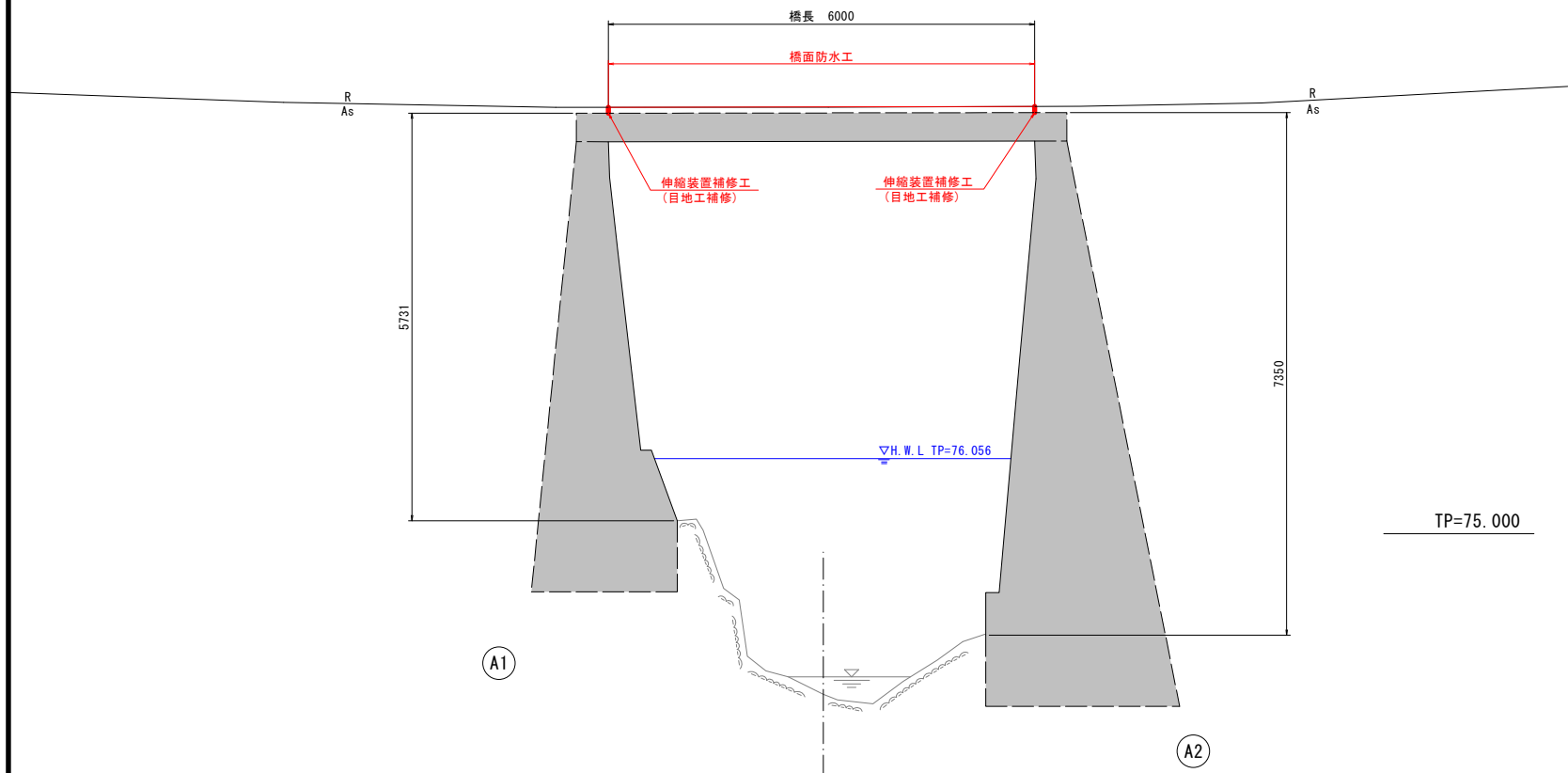


【雄高橋】			
工事名	令和8年度 道路メンテナンス事業 橋梁補修工事（雄高橋）		
路線名等	町道奥谷線		
工事箇所	那賀町雄字西原		
図面名	橋梁位置図		
縮尺	1:10000	図面番号	1 / 4
会社名			
事業者名	那賀町建設課		

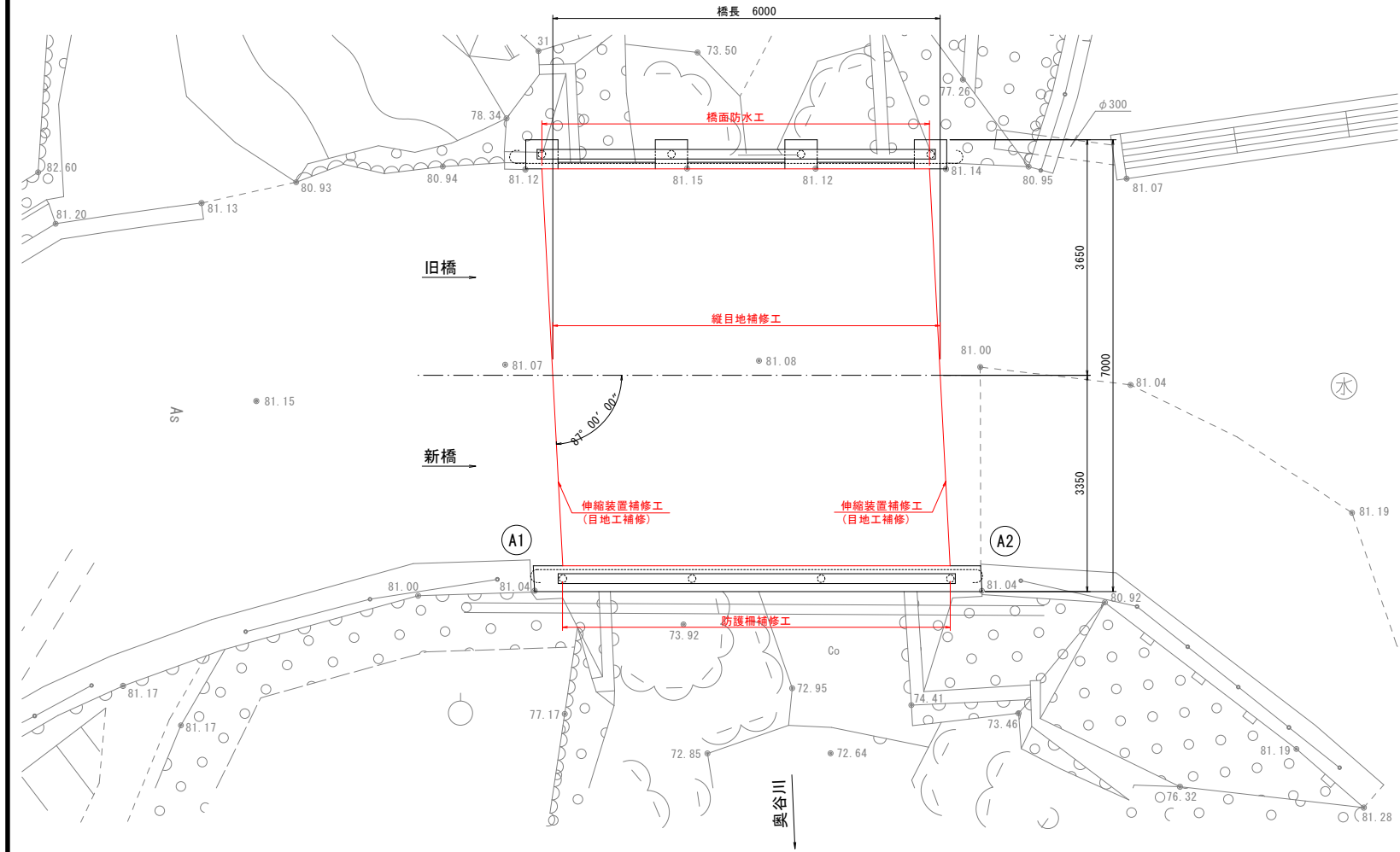
※この地図は国土地理院の数値地図25,000(地図画像)の一部を転載したものである。

補修一般図 S=1:50
(雄高橋)

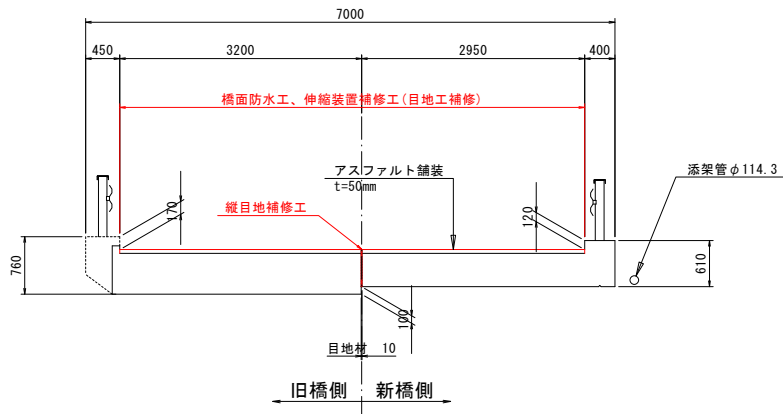
側面図



平面図



断面図



【橋梁諸元】

項目	諸元	上部工形式	1径間RC中実床版
橋梁名称	雄高橋	下部工形式	重力式橋台 (A1、A2※推定)
所在地	(自) 徳島県那賀郡那賀町雄字西原 (至) 徳島県那賀郡那賀町雄字西原	基礎工形式	直接基礎 (A1、A2※推定)
路線名	町道奥谷線	設計荷重	不明
管轄	那賀町 建設課	適用示方書	不明
橋長	6.0m	架設年度	不明
径間数	1径間	交差物件	奥谷川
幅員	全幅：7.00m、有効幅員：6.15m	添架物	水道管 (φ114.3)
		緊急輸送路の指定	無し
		補修履歴 (点検履歴)	2023年：定期点検

補修工法一覧

工種	内容
伸縮装置補修工	高性能目地材設置 メジエイド同等品
縦目地補修工	高性能目地材設置 メジエイド同等品
橋面防水工	舗装打換え及び橋面防水工 As舗装及び塗膜防水

※留意点
・本橋梁は設計図書及び完成図書が存在せず、現地寸法計測及び既往成果の復元図により作図している。
・地形線は現地簡易計測により作図している。
・耐震補強設計など反力の算出や詳細な寸法や施工計画が必要となる場合、測量などの実施により詳細な寸法を決定すること。

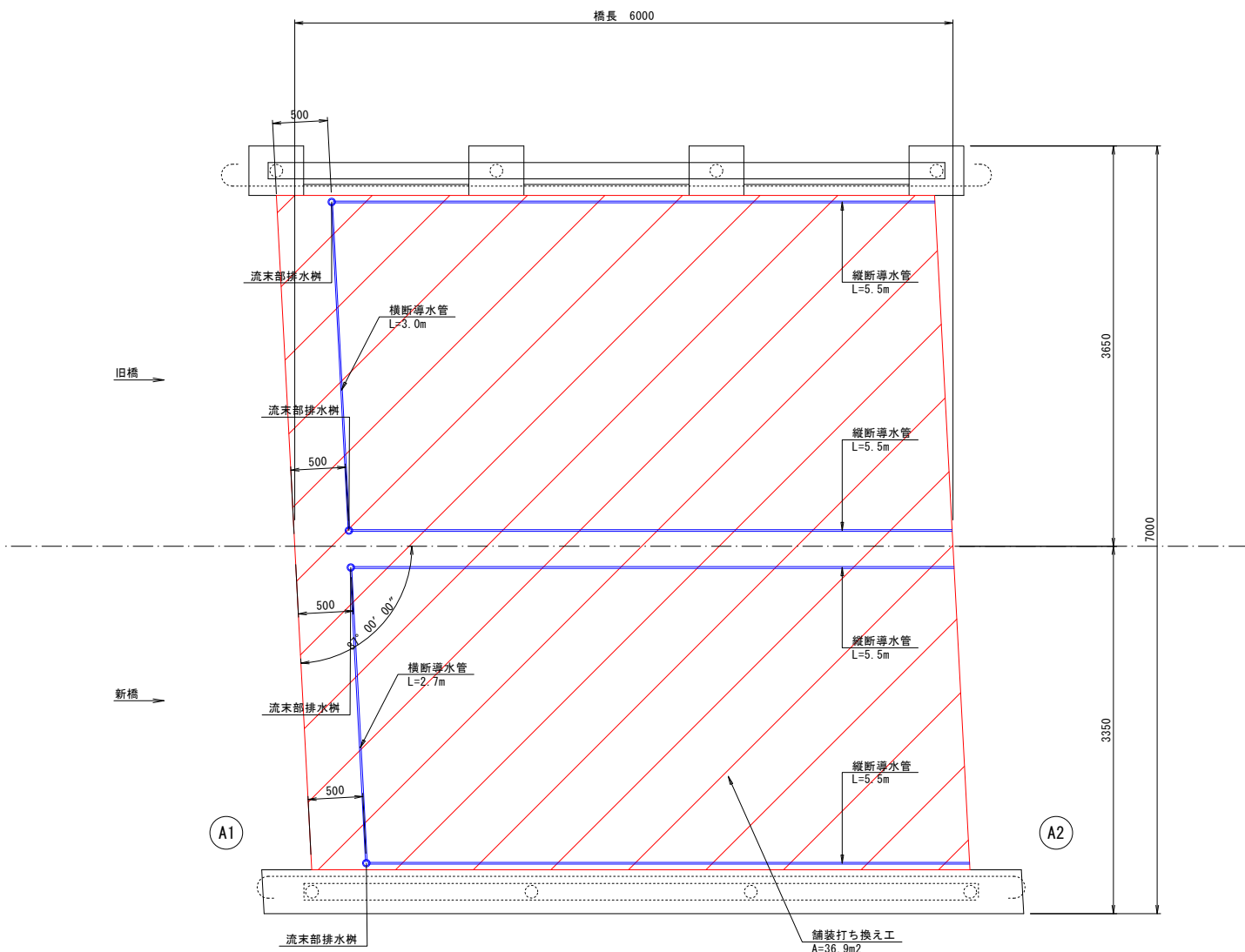
【雄高橋】

工事名	令和8年度 道路メンテナンス事業 橋梁補修工事 (雄高橋)		
路線名等	町道奥谷線		
工事箇所	那賀町雄字西原		
図面名	補修一般図		
縮尺	1:50	図面番号	2 / 4
会社名			
事業者名	那賀町建設課		

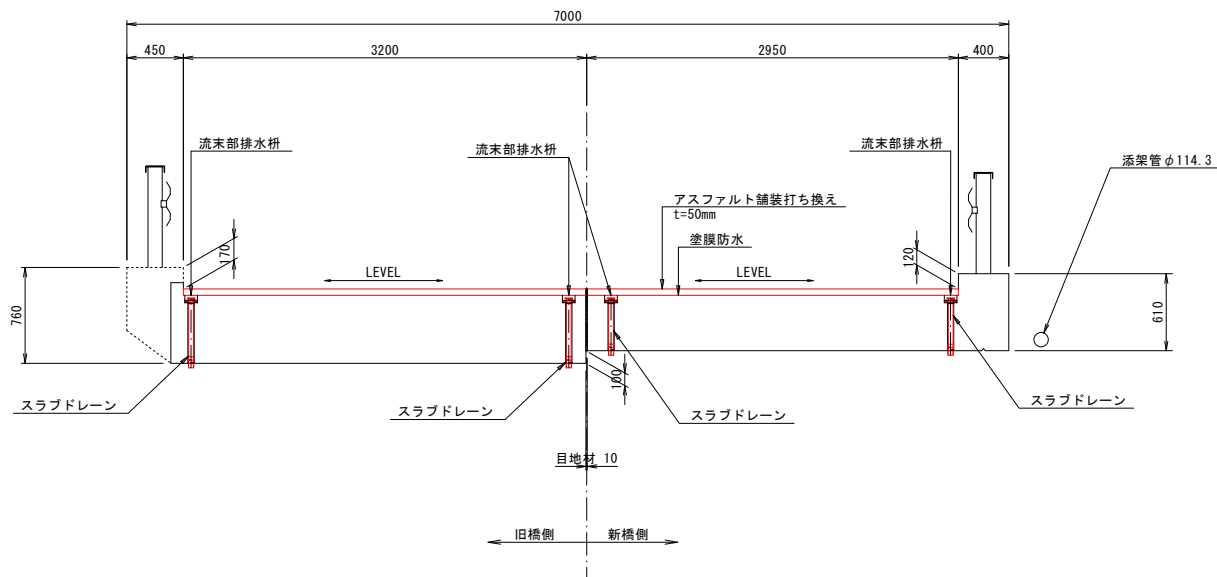
橋面補修工詳細図

(雄高橋)

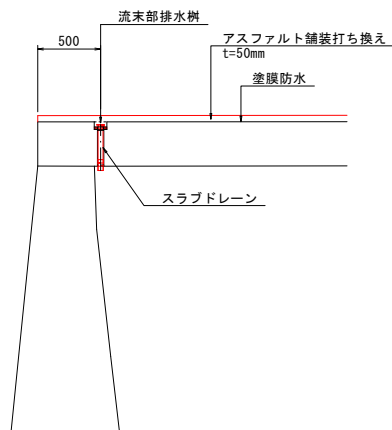
平面図 S=1:30



断面図 S=1:30



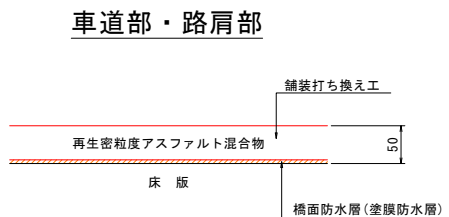
流末部詳細図



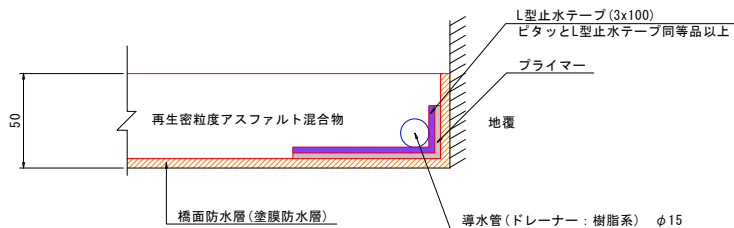
使用材料	規格	単位	数量	
			旧橋	新橋
スラブドレーン	φ42.7	箇所	2	2
エポキシ樹脂	1.2t/m3	kg	0.14	0.14

注) 施工時に現地実測の上、数量を確定すること。
注) 排水装置設置箇所は、現地状況に応じて適宜移動させること。
注) 縦断勾配の低いA1側にスラブドレーンを設置する。
注) 鉄筋探査を行い既設の配筋を傷付けないよう配慮すること。

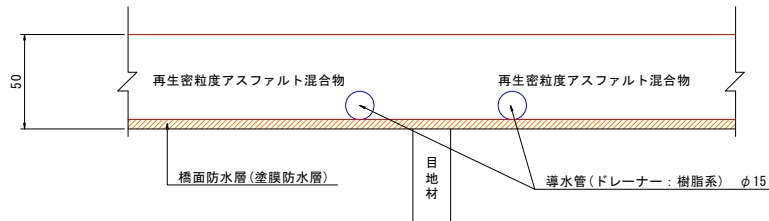
舗装及び防水層構成図 S=1:5



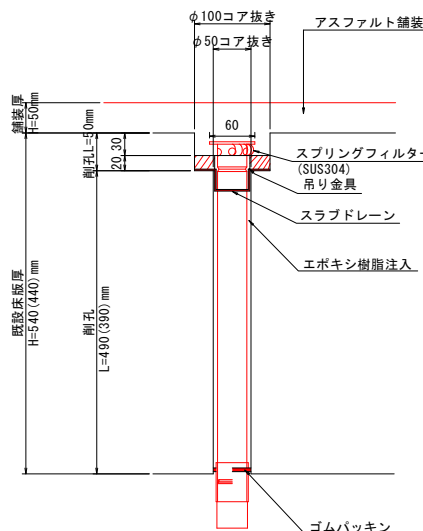
地覆部処理詳細図 S=1:2



中間部処理詳細図 S=1:2



床版削孔詳細 S=1:5



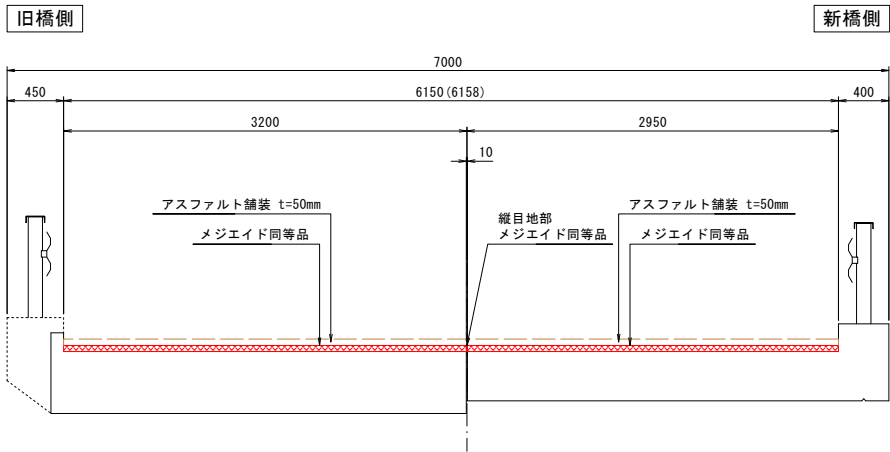
※留意点
・舗装厚は推定値であるため、撤去時に確認を行い
現況の厚さで復旧を行うこと。

※ () 内は新橋側の寸法を示す

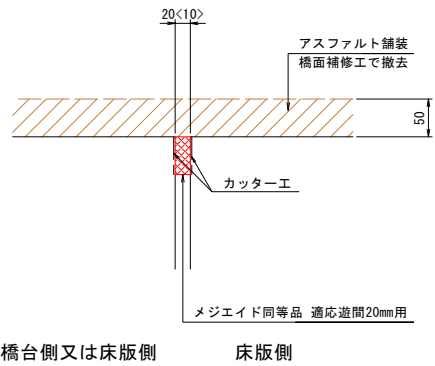
【雄高橋】			
工事名	令和8年度 道路メンテナンス事業 橋梁補修工事（雄高橋）		
路線名等	町道奥谷線		
工事箇所	那賀町雄字西原		
図面名	橋面補修工詳細図		
縮尺	図 示	図面番号	3 / 4
会社名			
事業者名	那賀町建設課		

伸縮装置(支点部の目地工)補修詳細図
(雄高橋)

断面図 S=1:30

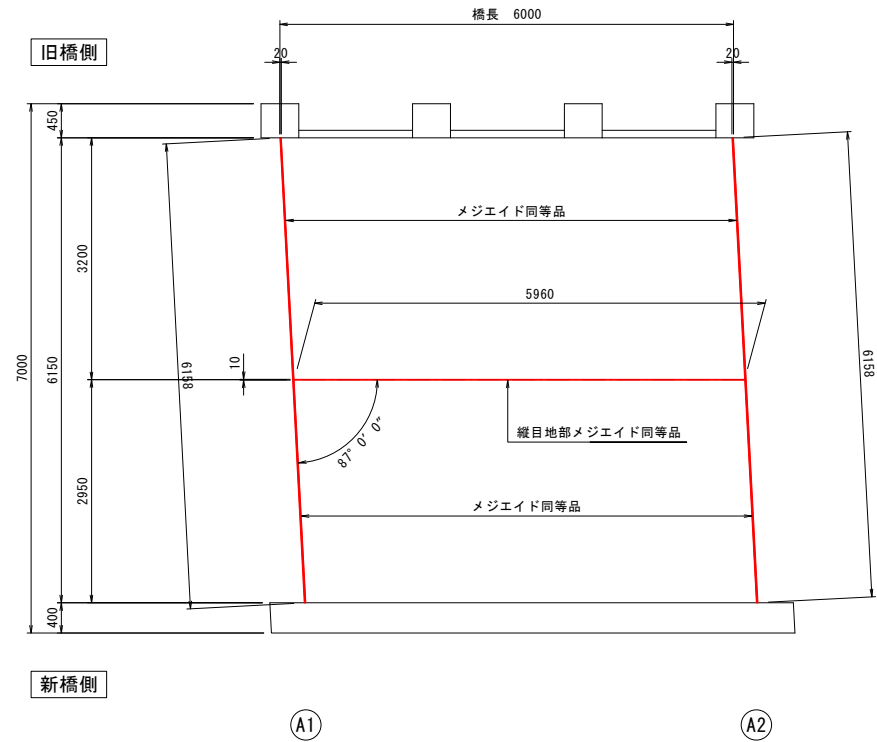


遊間処理断面図 S=1:5



注1) 仕様・諸寸法・適応の可否は、現地再調査及び照査の上、決定のこと。
注2) 既設伸縮装置は、ノージョイントを想定。
注3) < >内は縦目地部を示す。
注4) カッター工は現況の遊間で設置できない場合に適用すること。

平面図 S=1:50



数量表

名称	品名又は仕様	単位	数量	備考
施工延長	-	m	18.276	
止水材	メジエイド同等品(適応遊間20mm用)	m	18.276	

※留意点
・本橋梁は支承条件が不明であるため、
既設の想定遊間量で規格を決定した。

【雄高橋】			
工事名	令和8年度 道路メンテナンス事業 橋梁補修工事(雄高橋)		
路線名等	町道奥谷線		
工事箇所	那賀町雄字西原		
図面名	伸縮装置(支点部の目地工)補修詳細図		
縮尺	図示	図面番号	4 / 4
会社名			
事業者名	那賀町建設課		